

(様式2)

# 学校関係者評価報告書

愛媛県立松山北高等学校中島分校

学校番号 23

評価実施日

平成25年2月12日(火)

委員

氏名

所属等

備考

勝田 昇

元中島町教育委員会教育長

田口 栄子

福祉介護事業経営

山本 祥平

自営業(農業)、元中島町消防団長

藤井 修二

松山市立中島中学校長

俊成 宣賢

P T A会長

評価・提言等

提言等に対する改善方策等

## 1 指導目標とマニフェストについて

「感謝から自立と共生へ」という指導目標は、非常に大事である。また、マニフェストと数値目標はうまくポイントを絞り込んでまとめている。

・地域に慕われ必要とされる学校であり続けるために、今後も継続して指導目標を核として適切なマニフェストと数値目標の設定を図る。

## 2 今年度の最終評価について

### (1) 学習指導

ア 相互授業参観週間で見学したが、熱心で分かりやすい指導をしており、整っていない環境の中でよくやっている。

・基礎・基本の定着を図りつつ、思考力・判断力・表現力を育成するための授業改善を、今後も継続する。

イ 家庭学習時間を増やすために、能力に合った課題を出すことや、やったことが目に見えるような課題の工夫をすることで、意欲と態度を育てることに力を入れるべきである。

・年間平均105分という家庭学習時間を増やすために、家庭学習時間が1時間未満の生徒の割合(約35%)を減らすことが必要である。効果的な課題の出し方を工夫することで、学習に対する意欲と態度の育成に努める。

### (2) 進路指導

ア マニフェストにあるキャリア教育について、その本質の共通理解を図り、効果的に実践してほしい。

・大学と専門学校に進学する生徒は、何のために進学するのかという目的意識を持たせることはある程度出来つつある。一方で、せっかく就職したのにすぐに離職してしまったという事例をなくすために、就職希望の生徒の仕事観・職業観の育成のために、進路指導計画の工夫と改善を図る。

イ 生徒の進路実現のために、一人一人に応じた細かい指導がよくできている。

### (3) 生徒指導

ア 船通学している生徒の顔を見ていると生き生きとして楽しそうである。船の売店の人に聞いてみても乗船態度に問題はない。勉強している生徒もいて、好印象である。

・船通学中や地域の中の生徒の生活態度について、今回はよい評価をいただいた。今後も、気を緩めることなく基本的生活習慣の確立を通して、自立心の育成に努める。

イ 地域で見かける生徒は、礼儀正しく自然な挨拶をする。また、化粧などしておらず高校生らしい生活態度である

ウ 自転車保険に入らせる指導は適切である。

エ 過度に厳しい生徒指導をしてしまうと、生徒の自主性をなくすことがあるので注意してほしい。

・年間を通じた様々な体験活動によって豊かな人間性と社会性の育成を図るために、学校行事と総合的な学習の時間等の実施計画の工夫と改善を継続して行う。

### (4) 施設・設備

校庭の芝生が、月一回の全校生徒による芝生作業できれいに整備されており、ぜひ今後も継続して行ってほしい。

## 3 学校評価アンケート結果について

生徒、保護者、教職員による学校評価は年々評価が上昇しており、学校全体としてよりよい方向に向かっていると思う。

・保護者による学校評価において、進路指導と生徒指導における保護者との情報交換や連携の項目で、昨年度より評価が下がっていた。これについて、より適切な実施に向けての改善とともに、保護者との意思疎通と保護者への効果的な情報発信の工夫を図る。

